



スポーツ交流を通じた 子どもたちが誇れるまちづくり

串良まちづくり戦略会議

串 良まちづくり戦略会議は、平成23年4月に発足した、スポーツ交流を中心としたまちづくり活動を実践する団体です。約15人のメンバーは30代～40代で、小・中・高校生の親世代が多く集まっているのが特徴です。串良地区には、平和アリーナやふれあいセンター、さくら温泉等、スポーツや合宿などの環境が整っているにも関わらず、子どもたちが大会などで市外に行くことが多かったことから、「環境に恵まれた串良地区から出かけるのではなく、来てもらえる活動をと、有志が集まって活動を開始。



県外チームも参加するドッジボール大会。今年1月の大会では、戦略会議で旅費等を負担して、平成28年熊本地震で被災した小学生を招待した。



平成24年3月に初めて実施した「旅立ち式」で、生徒たちが残した「串良に願う事」。活動の原点として事務所に常に掲示している。

現在は、県内外のチームが参加する小学生ドッジボール大会や社会人バレーボール大会の開催、串良ふれあいセンター等での年間200人以上の合宿受け入れなど、スポーツを通じたまちづくりを中心に活動しています。また、戦略会議発足と同時に始めた、高校を卒業する生徒を送り出す「串良人旅立ち式」は、今では3中学校区全域で開催されるようになりました。

代表の川添幸一こういちさんは、次のように語ります。「運動施設・入浴施設・宿泊施設が程よくまとまっている地の利を生かして、スポーツを核に、みんなの知恵を集めて交流人口を増やしたい。そしてここは、次世代を担う子どもたちが育つ大切な場所。串良地域を盛り上げると同時に、旅立った子どもたちが誇れる、帰ってきたくなるまちをつくりたい」



川添さんが経営する自動車整備工場2階に事務所を設置。会議は、時に午前0時を過ぎることも。

編集後記

2年間共に仕事をしてきた職員が異動に。彼の広報誌にかける情熱は見習うべき点がありました。これまで広報誌に携わった先輩職員の想いを大事に、新たな気持ちで励む所存です。(前田)

立場変わって係内の中間ポジションに。明確な解や公式などが無い「広報」の中で、新たな業務を仰せつかったこの1年、果たして無事に乗り切れるか…とありえず、「Que Será, Será」。(原田)

広報担当になって4年が経ち、この4月で異動となりました。取材先で聞いた貴重な話の一つひとつが宝物です。たくさんの方の素晴らしい出会いに感謝！(新保)

お便り&メッセージ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。